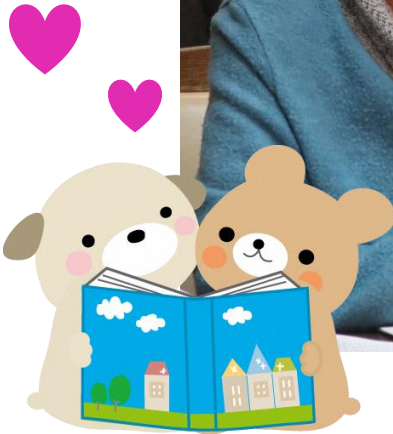


## 公民館通信



2021年  
2・3月号  
No.294



## たのしいまち

編集：たのしいまち編集委員

発行：多摩市立永山公民館 ☎206-0025 多摩市永山 1-5 ☎042(337)6661 FAX042(337)6003  
多摩市立関戸公民館 ☎206-0011 多摩市関戸 4-72 ☎042(374)9711 FAX042(339)0491

## 生きる力と希望を

## ひと♡ネットワーク



## 本を通して伝えたい！

## 多摩市文庫連絡協議会

「各地域に生まれた文庫同士、横のつながりを！」との伊藤峻初代図書館長の助言を受け、「なかよし文庫」が文庫連結成を呼び掛けた。活動はおはなし会にとどまらず、憲法や図書館についても学ぶというもの。図書館と対等な関係を模索したという。さらに地域図書館第1号となる諏訪図書館や中学校全校に配置されている学校図書館司書も、なかよし文庫や文庫連の要望や陳情によって実現した。高齢化などによって閉じた文庫もあるが、結成して40年経つ現在は9団体と16名の個人会員が所属している。

今年33回目となる予定だった「文庫展 子どもと本の広場〈本の世界で遊ぼう〉」は、コロナ禍の緊急事態宣言を受け、中止を決断した。第1回は図書館開館15周年の年。例年、絵本作家の原画展と講演会や平和をテーマにした絵本の展示などを行ってきた。着々と準備を進めてきただけに残念でたまらない。写真のお二人は「コアラ文庫」の仲間。ニコニコ笑顔が印象的な大阪出身の寄神さんは、「本を読むと目が悪くなる」と父に言われ、小中学生時代は読書を読まされてもらえなかった。語り口の熱い千葉出身の青木さんも本格的な読書は大人になってからで、どちらかというと体を動かすのが好きな少女だったと笑う。しかし、自分の子が生まれて読み聞かせをするうちに絵本の魅力にハマった。時に、登場人物の人生が味わえる本の世界。文庫の仲間の存在も心強く、ひとりでも多くの子どもたちが、心に残る一冊の本と出会えるよう願いを込める。そんなメンバーからのお勧めの一冊を次号から紹介して頂く。乞うご期待!!

よりがみ

寄神 光代さん

青木 洋子さん

本には、大人になっても色褪せない心に残る一冊がある。生まれたばかりの多摩市に図書館はなく、ニュータウン開発真っ只中で近くに本屋もなかったそうだ。そこで母親たちが立ち上がり、子どもにより良い読書環境をと、家から絵本を持ち寄って「文庫」を開いた。初めての「なかよし文庫」誕生は、多摩市制翌年の1972年、多摩市立図書館が開館したのは、さらにその翌年だ。

「各地域に生まれた文庫同士、横のつながりを！」との伊藤峻初代図書館長の助言を受け、「なかよし文庫」が文庫連結成を呼び掛けた。活動はおはなし会にとどまらず、憲法や図書館についても学ぶというもの。図書館と対等な関係を模索したという。さらに地域図書館第1号となる諏訪図書館や中学校全校に配置されている学校図書館司書も、なかよし文庫や文庫連の要望や陳情によって実現した。高齢化などによって閉じた文庫もあるが、結成して40年経つ現在は9団体と16名の個人会員が所属している。

## 諏訪・永山／初期入居④

公益財団法人多摩市文化振興財団 学芸員  
橋場万里子(はしば まりこ)

最終回となる今回はいよいよ初期入居そのもの  
ことを取り上げてみましょう。

初期入居は昭和46年3月26日から始まりました。  
この写真は、入居当日、現在の永山商店街の高層棟側  
あたりを、引っ越し荷物を抱えながら闊歩する人たち  
です。後ろに写る高層棟はまだ工事中です。



入居初日の永山商店街  
昭和46年(1971)3月26日／UR都市機構寄贈資料・  
公益財団法人多摩市文化振興財団所蔵

このように、周囲はあちこちまだ工事中で、むき出  
しの赤土が見えるなかで、最初の引っ越しがおこなわ  
れたのでした。



入居初日の永山商店街  
昭和46年(1971)3月26日／UR都市機構寄贈資料・  
公益財団法人多摩市文化振興財団所蔵

さて、ここに入居した人たちはどのような人達だっ  
たのでしょうか。



入居初期の諏訪商店街  
昭和46年(1971)6月28日／UR都市機構寄贈資料・  
公益財団法人多摩市文化振興財団所蔵



入居初期の諏訪商店街  
昭和46年(1971)6月28日／UR都市機構寄贈資料・  
公益財団法人多摩市文化振興財団所蔵

写真は、昭和46年6月の諏訪商店街付近のようす  
です。写真に写っている「地産ストア」というスーパ  
ーの軒下には若い子供連れのお母さんたち、写真手  
前にはベビーカーが写っています。

このように、当時の入居者は新婚の夫婦や、生まれ  
たばかりの子どもがいる若い夫婦たちが中心でした。  
彼らは都心やその周辺の2K や2DK のすまいに住ん  
でいましたが、家族が増えたことなどを契機に、より  
広い家が必要になり、応募した人たちでした。

当時は住宅不足だったため、応募倍率は高く、なか  
には他の地区も含めて30回も落選して、ようやく多  
摩ニュータウンに当選したという人もいました。また、  
落選回数によって当選率が変わるので、落選葉書を  
大切に持ち続けた人もいました。

入居者の中には、戦時下で疎開を経験し、疎開や仮  
住まいを繰り返したあとで、ようやく手に入った初め  
ての本当のマイホームだった、と語る人もいます。

文章やイラストを描くのが好き、パソコンが得意などなど、自分たちの手で楽しい紙面を作ってみませんか？  
興味をお持ちの方は、ぜひ公民館までご連絡ください。

ニュータウンは新しい生活様式を始めるきっかけにもなりました。団地の内部は洋風の住宅設計がされており、特にトイレは当初から洋式が導入されていました。一方で学校のトイレは和式だったため、自宅では洋式を使い、学校で始めて和式を知るといった子どももいたそうです。

#### ■未整備のなかで

周囲が整備されていく中で始まった暮らしだったため、特に初期入居の方たちは、いろいろな部分で苦闘しました。交通面では、まだ永山駅が開通しておらず、駅に出るには聖蹟桜ヶ丘駅までバスで出なくてはなりませんでした。しかし、道は車で渋滞し、市役所あたりから降りて、聖蹟桜ヶ丘駅まで歩く行列ができたほどでした。こうしたことから「陸の孤島」と報道されたこともあります。

また、団地は外側からはどの部屋も同じように見えることから、帰る家を間違えないように、ドアや窓に印をつける工夫をした家もありました。

子どもたちのための施設もまだ間に合っていないものもあり、学童保育もそのひとつでした。保護者達は学校や市役所の協力を得ながら、南永山小学校の一角にプレハブを作り、お金を出し合って保育士にお金を払い、自主的に運営を始めたそうです。そんななか、新聞配達店の人達が家財道具の搬入などに協力してくれたそうです。また、当時は電話が1家に1台入っていたわけではなかったため、新聞配達店に電話が入り、呼び出してもらい、ということもおこなわれていました。こうした例にも見られるように、当時は新しい街をつくろうという気運にあふれ、みんなが協力をしあっていたそうです。

また、入居当初は、学校図書室もなく、近くに図書館もありませんでした。そこで、永山団地の保護者達が家にある本を持ち寄り、「なかよし文庫」という地域文庫を作りました。

このように、入居者たちが周囲の協力を得ながらも、自らの手で生活に必要なものを作り出していく、という気概が、初期入居者たちの間では強くありました。

一般的に「入居」というと、既にできあがった建物のなかに入るという、受け身のイメージを持ちそうにな



なかよし文庫 1周年記念号  
昭和48年(1973)  
なかよし文庫

りますが、多摩ニュータウンの初期入居はそうではなく、未完成の街に入り、そこから能動的に一緒に街を作っていたという印象を受けます。

多摩ニュータウンを計画して作ったのは東京都・住宅公団・東京都住宅供給公社の三者です。しかし、その経緯を見ていくと、単に作り、作られたという関係だけでは語り切れず、多摩市などの現場の役所の人々も、元から住んでいた人々も、新たな入居者も、それぞれが奮闘し、ある時は声を上げ、ある時は提案し、交渉し、自分なりの工夫をするなどして、さまざまな形で街づくりに関与してきたことがわかります。その集積が、現在の街の姿に反映されているように思われるのです。

多摩ニュータウンを歩くと、街で見かける様々なものが、実は意味を持って意図的に建てられたり、配置されたりしていることに気が付きます。それは都市計画や設計者の意図である場合もありますが、住民たちの土地への想いやニーズが反映された結果であることもあります。

初期入居から50年を迎えようとする今、すでに最初期に建てられた諏訪2丁目住宅は建て替えられ、街は徐々に変化の時を迎えつつあります。この節目の年に、多摩ニュータウンの初期入居のことや、それ以前・以後のことなど、地域の歴史を振り返ることは、これからのことを考え、適切な判断をしていくためにも大変重要なことです。

このたびは4回にわたり、貴重な連載の機会をいただき本当にありがとうございました。当館は、3月には、永山周辺で当時を振り返る催しを計画しています。是非この機会にご覧いただければ幸いです。

#### ■予告 多摩ニュータウン初期入居50周年記念展示

##### 「諏訪・永山のあゆみ～初期入居からの道のり～」

主催：多摩市 主管：パルテノン多摩共同事業体

【展示①】グリナード永山2階つばさ広場 3月7日(日)～29日(月)10時～20時(無料)

【展示②】ベルブ永山(永山公民館)ギャラリー 3月24日(水)～29日(月)10時～17時(※最終日は15時終了・無料)

※諏訪・永山商店街でも展示を開催予定。

【移動型演劇】「ニュータウンと、あるく。」3月27日(土)・28日(日) 11時・13時30分・16時(申込制・有料・詳細はパルテノン多摩 HP <https://www.parthenon.or.jp>へ)

文章やイラストを描くのが好き、パソコンが得意などなど、自分たちの手で楽しい紙面を作ってみませんか？興味をお持ちの方は、ぜひ公民館までご連絡ください。

# この一年「ひと♡ネットワーク」に登場された方たちより

この一年もいろんな出会いがありました。「たのしいまち」の顔として、「ひと♡ネットワーク」に登場してくださった方たちに登場秘話・その後のご様子を教えていただきました。

- ① 表紙に出られた感想や反響を
- ② 記事への補足、新しい取組や今後の構想など
- ③ 公民館や、『たのしいまち』について一言



**照井 明子 さん**  
(えんぴつくん・漢字くん)  
(2020/2・3月号)

- ① 皆さんから声をかけていただいたり、知人の方からはメールをいただいたりと反響の大きさを感じているところです。先日遠方の知人からも「公民館だより」見ましたよ！と、ちょっと興奮気味でお電話をいただきました。10年ほどお目にかかっているのですが、久しぶりに長話してしまいました。
- ② 休館中は、お習字のお手本を皆さんの所へ郵送で届け、自宅で書いていただいたものを、ネットで添削したりしていました。現在は広い会場をとったり、密にならない様に充分気を付けながら使用させていただいています。
- ③ 午後の時間枠を、小・中学生が使いやすい2時間帯分けの枠が欲しいです。とても楽しく上手に話を聞きだし、原稿にさせていただき満足でした。今後も期待いたします。



**高橋 幹基 さん**  
(都立多摩桜の丘学園教諭)  
(2020/4・5月号)

- ① 勤務校の生徒の保護者の皆様から「先生、見ましたよ！」と声をかけられることができました。また家族にも日ごろの業務の一端を知ってもらえることができて、「あなたも社会に役立っているんだね。」と良い評価をいただきました。家庭内では「ワンオペ育児」の代名詞的存在なので…。
- ② 記事で紹介していただいた通り、小学2年生から大学卒業まで、アイスホッケーしかまともに取り組んでこなかった人生でした。女子ハンドボール、女子バレーボール、サーフィンの部活動はどれも初めての挑戦でした。その度に「また勉強しなきゃ」と他校の指導者に指導方法を学びに足を運んだりしたのを覚えています。そのおかげで、初めてのことに對する気持ちが変われるようになったのも事実です。これからは新しいことにどんどん取り組んでいきたいです。
- ③ 住んでいる人、働いている人、通学している人など、多摩市にはたくさんの素敵な人たちが関わっています。そんな人的資源や環境資源が豊富にあることを伝え、人と人とを結びつけることができる素敵な公民館通信、必読です！



**橋場 万里子 さん**  
(パルテノン多摩学芸員)  
(2020/8・9月号)

- ① 写真が出るのは少し恥ずかしかったのですが、長時間にわたり話したことを大変上手におまとめいただき、感謝しております。何人かの方から「見ましたよ」とお声がけをいただき、当館のPRにもなったのかなと思います。貴重な機会をいただき、どうもありがとうございました。
- ② 市民学芸員養成講座も終わり、新しい博物館構想を現実化するための一歩を踏み出すことになりました。今年は、個性豊かな市民学芸員の方たちと一緒に地域のいろいろな魅力を発見し、つながりを構築し、「地域まるごと博物館」構想を実現していく場を作り上げていきます。あらゆる方がそれぞれのやり方で主人公になれる博物館にしていきたいと思っておりますので、是非引き続きよろしくお願ひいたします。
- ③ 地域に根差した意欲的な活動の拠点となっている印象を受けました。編集にはいろいろご苦労があると思っておりますが、読み応えのある読み物となっていると思っております。長年にわたって続けていくことは大変貴重なことと思っておりますので、これからも頑張ってください。



**大石 武朗 さん**  
(樹木医 元日本住宅公団  
(現UR都市機構) 職員)  
(2020/10・11月号)

- ① 感想といわれても特にありません。強いて言えば、私のつたない話を聴いて頂いた方に感謝致します。
- ② 多摩ニュータウンの計画、建設の経緯などの話についてのオファーが度々あります。それにはなるべくお受けしたいと思っております。関連する資料、写真等が沢山あります。ニュータウン建設が始まってから既に50年以上経ちますので若い人にも知っていただきたいと思っております。
- ③ 『たのしいまち』が発行されていることは今まで知りませんでした。私の周りの人も知りませんでした。市民の手の届く身近な所に置いていただくと幸いです。



**山川 勇一朗 さん** (たまエンパワー株式会社代表取締役社長) (2020/12・2021/1月号)

- ① 近所の方や子どもの友達の親から「見たよ〜！」という話を頂きました。たくさんの方の目に触れ、私たちの取り組みを知っていただける貴重な機会を頂き感謝しています。震災後10年が経とうとしている中、原発事故の記憶も次第に風化してきているように感じます。記事をきっかけに一人一人が平和な社会づくりに向けて、再生可能エネルギーに関心を持ってもらえたら嬉しいです。
- ② 「SAGAMICO BERRY GARDEN」は、50種類のベリーが楽しめる体験型農園として、2022年春のオープンに向けて準備を進めています。オープンに先立ってプレ会員を募集し、会員向けにジャムづくりや養蜂、太陽光パネル設置、農園コンサートなど様々な体験プログラムやイベントを実施していく予定です。4月から第2期募集を行いますので、ぜひ会員になっていただくと嬉しいです！
- ③ 掲載を機に、他の掲載者の方の記事も拝見し、地域で活躍されている様々な方のライフストーリーに触れることができました。「たのしいまち」は地域で活躍する人の顔が見える身近なメディアとして、様々な活動の触媒になることを期待しています。



# 楽ちゃんの歩き倒すぞ！

## With チャリンコ&ウォーク「多摩の公園」探検隊 Vol.6

なぜ公園の中にこんなものが?? 前回の遊具シリーズに続いて、今回は遊具以外のものもかなり面白いので紹介します。

### 【わあ、なにこれ!? パート2】

1. 多摩の武道館近くの剣橋から遊歩道に沿って歩いて行くと、



馬引沢南公園に着く。わあ、公園の中に、なんと土俵が! 石垣で丸く囲ってある。これ実際にここで相撲の取り組みが行われたのかなあ??

2. 関戸橋の南に位置する、関戸三丁目公園。足を踏み入れてみて、ギョツとした。2メートルは



あろうかという、超巨大マンホールが! 誰が? 何の目的で?! 何に使われるマンホールなのだ?! 誰か知ってたら教えて~。

3. 某大型古本屋から鎌倉街道を渡ると、貝取第五公園がある。森の中の迷路みたいな奥に、いきなり青とピンクの日時計が!



UFOでも降り立ったかのように、ちょこんと鎮座している。これはかわいい。この公園で遊ぶ時は、時計持って来なくていいよ、子どもたち♪

### 関戸公民館

## 第11回関戸地球大学院 閉講しました

残念ながら第1講は中止となりましたが、第2講から7講までの6講座が12月4日に終了しました。6講座の内全6講座を受講したのが5名、5講座受講が6人です。参加者のお声をお届けします。

### 【全講座を通してのアンケートより】

- ・コロナの中で、家で一人で仕事をしているので、外に出る良いきっかけになりました。
- ・脳の活性化もあり、通える限り参加したいと思います。
- ・市内大学より講師の方々、身近に感じながら、今、社会問題になっているテーマを選んでくださり、毎回楽しみに参加しております。
- ・先生方のお話を聞いていると生きているという実感があります。今後も続けて下さい。
- ・コロナ禍の中、開催いただきありがとうございます。また、本当にご苦労様でした。
- ・興味がある内容があって嬉しかったです。対面での温かさも感じました。ありがとうございました。



①	「老年学からみた健康長寿の秘訣」 (台風接近により中止) 鈴木 隆雄 氏 桜美林大学委大学院教授
②	「コロナ危機 ~パンデミックから新たなグローバル社会を 構想する~」 上村 英明 氏 惠泉学園大学教授
③	「感染症とはなにか ~歴史と現在、新型コロナ肺炎~」 千葉 諭 氏 東京医療学院大学教授
④	「宇宙と私たち」 下井倉 ともみ 氏 大妻女子大学准教授
⑤	「コロナウィルス禍における スポーツのありかた~オリンピックの意義~」 足立 夢実 氏 国土館大学 講師
⑥	「大人になって気づく発達障害 ~「障害」と「個性」の狭間を生きる~」 小川 浩 氏 大妻女子大学 教授
⑦	「人々はどのようにつながっているのか? ~地域社会とソーシャルキャピタル~」 野坂 美穂 氏 多摩大学准教授

人が好き、文章やイラストを描くのが好き、パソコンが得意などなど、自分たちの手で楽しい紙面を作りませんか? 興味をお持ちの方は公民館にご連絡ください。 編集会議は、月1回程度です。



☆昔 YouTube で見かけた4歳のこうき君。驚くべき歌唱力、色っぽさ。この子絶対世に出るわと確信。先日カラオケバトルで準優勝。あ、あの子だ! 10歳になってる。6年前母が病死? 親戚に愛情一杯育てられ、ますます心揺さぶる歌声に。ああ、涙。(楽)

☆ヤンキースのまーくんが楽天に帰ってきた!! 3・11 東日本大震災。嶋基宏選手の「見せましよう、野球の底力を」という言葉。そして2年後、田中将大投手の24勝0敗1Sという驚異的な成績。優勝の感動が甦る。(月)

☆フィットボクシングを始めました。テレビの前でゲームに励まされながら毎日汗かいて発散! (す)

☆古本のネットショッピングに初挑戦。正座をしながらドキドキの開封。届いた本の状態の良さに感動。自粛中も普段と変わらないお財布の状況。原因はここに。(ひ)

☆☆ 編集後記 ☆☆

- ㊦ ましのみなさん
- ㊦ んびりくらす
- ㊦ ゆみに
- ㊦ きがい
- ㊦ ちどおしいな
- ㊦ ゆうおうとしよかん

